



まちの

水泳ジュニアオリンピック 福田さんら6人が出場



「全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会」に出場する、訓子府中学校の生徒1人、訓子府小学校の児童5人の合わせて6人が7月11日に役場を訪れました。

福田瑞希さん(中一)ら6人は、自由形や平泳ぎ、背泳ぎ、2000m個人メドレーなどで北海道予選会参加標準記録を突破し、予選会に出場することになりました。町長は自分の記録を伸ばせるよう「エールを送りました」。

北海道小学生陸上競技大会(オホーツク予選会)が、5月22日に北見市で開催され、訓子府町から4人の小学生が全道大会へ駒を進めました。

7月11日には、皆月奈知さん(6年生)ら4人の部員が役場を訪れ、菊池町長に「全力でがんばって良い記録を出します」などと、それぞれ全道大会の目標を話してくれました。

小学生陸上全道大会 皆月さんら4人が出場



「全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会」に出場する、訓子府中学校の生徒1人、訓子府小学校の児童5人の合わせて6人が7月11日に役場を訪れました。



わだい

雨の中、がんばったよ

認定こども園運動会



認定こども園の運動会が6月25日に訓子府グラウンドで開かれました。

この日は、開会式から雨が降り出し、競技内容を変更しての運動会になりました。小雨の中、子どもたちは一生懸命に走ったり踊ったりし、雨にも負けないくらいのがんばりに、父母たちから盛んに声援が飛んでいました。

こども園にやって来た B・BとQooとあそんだよ



北海道日本ハムファイターズの「B・B」とコカ・コーラの「Qoo」が7月4日、認定こども園にやって来ました。

この企画は、北海道日本ハムファイターズとコカ・コーラが地域密着と社会貢献をめざし、全道の幼稚園や保育園などを訪問し、子どもたちと触れ合うイベントです。

園児たちはB・Bによる「さんぽ」のピアノ演奏に合わせ、歌ったり、B・BとQooとの「ちゃん」とたべよう体操「野球体験コーナー」などの催しを楽しんでいました。

また、触れ合いタイムとして記念撮影や握手、ハグなどを行い、B・BやQooの迫力に泣き出し、最後は笑顔で見送っていました。



平成28年度訓子府町戦没者追悼式が7月15日、忠魂碑前で行われ、ご遺族や関係者約70人が参列しました。

戦没者に対して黙とうを行ったあと、菊池町長の式辞に続いて、参列者一人一人が献花し、英霊を追悼しました。

訓子府町の戦没者は、ご遺族の所在が不明な方も含めて214柱となっています。また、町内の遺族102人、町外が95人となっています。

追悼式が行われた会場にある忠魂碑横の平和記念之碑には、これら戦没者の名前が刻まれており、参列者は、その名前などを見ながら、あらためて手を合わせていました。

ご遺族など約70人が 参列し戦没者追悼式

約1万7,000本を除去



野生大麻根絶へ
抜き取り作業を実施

町内に自生する大麻の集団抜き取り作業が、7月20日に行われました。

ライオンズクラブをはじめ、防犯協会、訓子府高校、訓子府消防団、北見保健所などから合わせて46人が参加し、約1万7,000本の大麻を抜き取りました。

6月から9月までの野生大麻・不正けし撲滅強化運動の一環として、北見保健所管内で毎年抜き取り作業が行われています。

暑さの中、参加者は人の背丈よりも伸びている野生大麻を1本1本抜き取り、撲滅に向けて汗を流していました。



ランとも RUN伴訓子府

たすきリレーに34人参加

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりをめざして、認知症の人もそうでない人もみんながたすきをつないで日本を横断するプロジェクト「RUN伴」のたすきリレーが7月2日にRUN伴訓子府実行委員会の主催で行われました。

「RUN伴北見」からたすきを受け取り、くねっぶ静寿園から公民館まで認知症の方5人を含めたリレー走者・伴走者の34人がたすきをつなぎゴールをめざしました。

多くの応援者が沿道に集まり、リレー走者などにたくさんエールが送られていました。